

いしかわ

大百科



まなびの心
かがやく人生

番組へのご意見は…

- 石川県教育委員会事務局生涯学習課
☎ (076)225-1836
- テレビ金沢 報道制作局制作部
☎ (076)240-3344



放送予定表 平成29年後期10月～3月 手話通訳つき放送

テレビ金沢 日曜午前 7:00～7:30

提供/石川県教育委員会 企画・制作/テレビ金沢

シリーズ・ふるさとを歩く (全9回)

石川県には兼六園をはじめ風光明媚な観光名所がいくつもあります。知っているようで知らなかった、地元の人が心の拠り所としている思いやエピソードを交えながら探訪していくシリーズです。ゆったりと歩きながら、ふるさと石川をより深くひもといていきます。(このシリーズは4月から続いています)

第8回 10月8日(日)放送 **能登金剛・日本海と大地の息吹**

約29kmつづく羽咋郡志賀町の海岸線一帯の景勝地「能登金剛」は、**巖門**や**ヤセの断崖**など特徴的な地形が見せる美や日本最古の木造和式灯台・旧福浦灯台、伝説が残る**義経の舟隠**など、能登外浦の荒々しさと歴史を感じさせます。地元のボランティアガイドの会「又次」は能登金剛の魅力や民話・伝説を語り継ぐ活動も行っています。

第9回 10月29日(日)放送 **石のまち・小松**

昨年、日本遺産に認定された「小松の石文化」。その歴史は遡ること約2000年前、弥生時代の**碧玉**作りに始まり、石垣の**築城技術**、また九谷焼の原料石など脈々と石文化が育まれてきました。滝ヶ原地区には美しいアーチ石橋群が現存し、今も石切り場では全国の歴史的建造物に使用される**銘石材**が採掘されています。

大百科セレクション・再放送

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。

1月4日(木)放送 **かがやく石川育ち～冬のめぐみ～** シリーズ・ふるさとをつなぐ⑫

海産物のイメージが強い石川の冬ですが特筆すべき旬の野菜があります。加賀には、昨年伝来100年を迎えた「加賀丸いも」、そして能登には直径およそ10cm、肉厚で弾力のある歯ごたえがある巨大シタケ「のとてまり」があります。通常の3倍以上の日数をかけて育てることから「幻のシタケ」とも呼ばれています。加賀・能登それぞれの地の利を生かした食文化の発信に注目が集まります。(平成27年1月25日放送)

シリーズ・次代へつなぐ人々 (全6回)

先人たちが大切に受け継いできた伝統や文化を次の世代へつないでいこうと、さまざまな取り組みをしている人たちに焦点をあてます。普段の活動からその土地の風土や歴史をひもとき、ふるさとの新たな魅力を発信していきます。

第1回 11月19日(日)放送 **いしかわのジビエをおいしく**

ツキノワグマやイノシシなどの野生動物が県内での生息地を拡大させている中、金沢でジビエを専門に扱うレストランでシェフを務める中野慎也さんは自らも猟師として先輩たちとともに自然に向き合い、大切な恵みとしておいしいジビエ料理づくりに知恵をしばっています。

第2回 12月10日(日)放送 **進化する輪島塗**

棟梁として職人たちを率いるかたわら漆芸集団「彦十時絵」を主宰する若宮隆志さんは、江戸時代に発達した洒落やユーモアを斬新な解釈でとらえた作風や、青銅や陶器に見間違えるような漆の作品を発表し国内外で高い評価を受けています。実用品のみならず、輪島塗の技術から新たな可能性を追求しています。

第3回 1月21日(日)放送 **伝統の技・坂網猟**

藩政時代には武家しか許されなかった伝統的な猟法「坂網猟」。加賀市片野の鴨池では晩秋から冬にかけて飛来する鴨を地元猟師らが独特な道具・坂網を使って捕獲していきます。近年は地元の若い世代の人たちが継承し、技を磨いています。

第4回 2月11日(日)放送 **日本で一番小さな農家**

サッカーコート半分程の農地で50種類ほどの野菜を育てる専門農家の西田栄喜さんは**農薬・肥料**は一切使わない自然そのものの野菜づくりにこだわり、全国から注目を集めています。また手作り味噌教室やかぶら寿司漬け込み教室なども積極的に行い、地域の繋がりや食文化の継承を大切にしています。

第5回 3月4日(日)放送 **九谷の図柄で新発想**

伝統的な九谷焼の図柄を使って新たな仕掛けをしている人たちがいます。「九谷ネイル」と称して爪に麻の葉や七宝などの文様を**赤絵細描**という技法で描く若手女性作家や、能美市で取り組みが進む**オープンデータ**(著作権フリー)の図柄を室内の設えに取り込むなど、九谷デザインの新たな可能性が広がっています。

第6回 3月25日(日)放送 **乙女な桐工芸**

良質の桐材と、ろくろ木地師の技、そして加賀時絵の伝統が息づく「金沢桐工芸」。中でも代表的な桐火鉢は現代の暮らしの変化とともに生産が減少していますが、若手の職人がその伝統の技を駆使して**トレー**や**スプーン**といった普段使いできる女性目線の愛らしい作品を生み出しています。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)

県民大学校については石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。
〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階
電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585

